



東京 2020 パラリンピック大会 出場国枠について

一般社団法人 日本ゴールボール協会

東京 2020 パラリンピック大会の出場国の枠についてご説明させていただきます。また 12 月 5 日～10 日にて開催される 2019 IBSA ゴールボール アジアパシフィック選手権大会 in 千葉 と東京 2020 パラリンピック大会の出場権について誤解を招くご説明があったため、本資料項目 5 にて正確な情報をご説明させていただきます。ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

※情報はすべて、2019 年 12 月 7 日現在のものです。

1. 出場国数

男子 10 カ国

女子 10 カ国

2. 出場枠

① 開催国

② 世界選手権大会 上位 3 カ国

③ アフリカ、アメリカ、アジアパシフィック、ヨーロッパ地区予選の優勝国

④ IBSA Goalball International Qualifier 大会の上位 2 カ国

3. 出場が決定している国

<男子>

① 開催国 日本

② 世界選手権大会 1 位 ブラジル

③ 世界選手権大会 2 位 ドイツ

④ 世界選手権大会 3 位 ベルギー

⑤ アメリカ地区予選 アメリカ

⑥ ヨーロッパ地区予選 ウクライナ

⑦ ⑧International Qualifier 上位 2 カ国

<女子>

- ① 開催国 日本
- ② 世界選手権大会 1位 ロシア
- ③ 世界選手権大会 2位 トルコ
- ④ 世界選手権大会 3位 ブラジル
- ⑤ アメリカ地区予選 アメリカ
- ⑥ ヨーロッパ地区予選 イスラエル
- ⑦ ⑧International Qualifier 上位 2カ国

4. 出場国がまだ決まっていない地域

- ① アジアパシフィック地区
- ② アフリカ地区

5. International Qualifier 大会順位は以下の通り

取消線は地区予選優勝国です。

地区予選優勝国と、International Qualifier で出場権を得る国が同一の場合は、当該国は地区予選枠で出場し、International Qualifier で次に順位の良かった国が出場権を獲得します。

<男子>

- 1位 リトアニア
- 2位 トルコ
- 3位 中国
- 4位 チェコ
- 5位 アメリカ
- 6位 ウクライナ
- 7位 韓国
- 8位 スウェーデン
- 9位 フィンランド
- 10位 カナダ

<女子>

- 1位 中国
- 2位 ~~アメリカ~~
- 3位 ~~イスラエル~~
- 4位 オーストラリア
- 5位 カナダ
- 6位 イギリス
- 7位 フィンランド
- 8位 デンマーク
- 9位 ドイツ
- 10位 ウクライナ

5、2019 IBSA ゴールボール アジアパシフィック選手権大会 in 千葉 と東京 2020 パラリンピック大会の出場権について

- ① 優勝国がアジアパシフィック地区の代表として東京 2020 パラリンピック大会の出場権を獲得します。ただし、以下の場合はその限りではありません。

- ②日本男子、日本女子が、それぞれ優勝した場合
日本は開催国として出場し、2位の国がアジアパシフィック地区からの出場権を獲得。

- ③日本女子、中国女子が1位と2位となった場合
International Qualifier 大会の次点国が出場権を獲得。
現状では、4位のオーストラリア、5位のカナダになります。

以上